

**【ステップ1のポイント】ハザードマップで、自宅周辺の状況・避難先を確認する**

ご自宅や町内の勤務先・学校等の周辺の災害リスクを確認し、ご自身に合った避難方法・経路等を考えます。

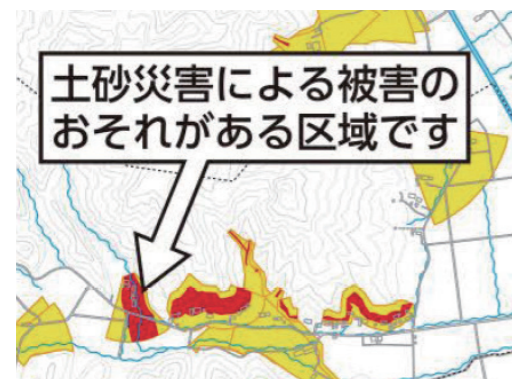
**【ハザードマップの確認ポイント】**

- ◎自宅周辺で予測される被害程度
- ◎避難場所の位置・避難場所までの避難経路



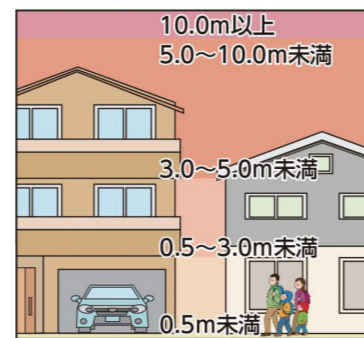
ハザード情報の見方

**土砂災害**

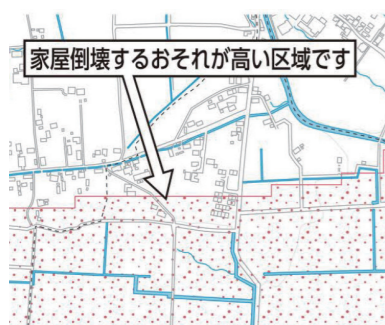


- 土砂災害警戒区域**  
土砂災害による被害のおそれがある区域
- 土砂災害特別警戒区域**  
建造物に損壊が生じ、住民などの生命または身体に著しい危険が生じるおそれがある区域

**水害 洪水浸水想定区域（浸水深）**



**家屋倒壊 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）**



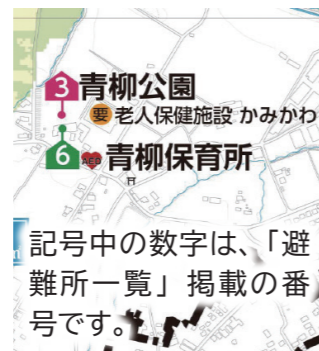
洪水時の河岸浸食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

**水の流が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。**

**地面が削られ、家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。**

**避難所の位置・避難経路を確認**

- ハザードマップ中の地図を利用し、
  - 自宅から避難できる避難所の位置
  - 安全に避難できる避難経路
- を確認します。



凡 例			
地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
	避難所兼避難場所	○	町役場
	避難所	☑	消防署
	避難場所	消	消防団車庫
	高齢者がいるところ	⊗	駐在所
	AED設置施設	〒	郵便局
	県道・主要地方道	⚕	医療機関
	国道	●	その他標物

# 命を守る「マイ・タイムライン」

問合せ 防災環境課 防災担当 ☎0495-77-2124 FAX0495-77-3915

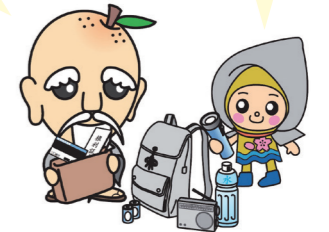
**「マイ・タイムライン」とは**

「マイ・タイムライン」とは、災害に対する事前の準備と行動を、あらかじめ記録しておく予定表のことです。

住んでいる場所や家族構成によって、いざという時にとるべき行動やタイミングは異なります。ご自身やご家族の中で、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ決めておくことで、災害の危険が迫ってきた時に落ち着いた避難行動をとることができます。

「どのタイミングで何をするか」を事前に考えておくんじや

自分のタイムラインをつくることで、「いつ、どうやって逃げるか」がわかるよ



「マイ・タイムライン」は、各ご家庭に配布した「神川町防災ガイドブック（ハザードマップ）」へ記入して作成することができます。  
**お手元にご用意いただき、実際に書きこんでみましょう。**



**「マイ・タイムライン」作成のステップ**

**【作成の前に】「防災気象情報」「避難情報」等の取得手段を把握する**

いざというときに適切な避難行動をとるためには、速やかな情報の取得が重要です。テレビやラジオ、防災無線などから情報を取得できます。また、平時より災害に対する備えとして防災情報メールや防災アプリの登録をし、情報の取得手段を確保しておきましょう。



**【ステップ1】ハザードマップで、自宅周辺の状況・避難先を確認する**

町が各ご家庭に配布したハザードマップで、災害時にご自宅や職場・学校（町内にある場合）ではどのような災害が想定されているかを確認し、普段からご家族で避難先や連絡方法について話し合っておきましょう。また、避難経路にも危険な場所がないか確認しておきましょう。

**【ステップ2】避難行動を開始する目安を検討する**

神川町防災ガイドブック（ハザードマップ）3ページ掲載の「避難行動判定フロー」を使って、災害時にとるべき避難行動を確認し、避難行動を開始するタイミングを決めます。避難のタイミングは、「家族に高齢者や乳幼児がいる」「避難所が遠い」など、ご家庭の事情を踏まえて設定することが大切です。

**【ステップ3】「いつ、誰が、何をするか」を考え、タイムラインを作成する**

最悪の事態を想定し、「いつ、誰が、何をするか」を考えていきます。

- ①とるべき行動を箇条書きで書いていく
- ②箇条書きした内容を時系列に並べていく

行動に無理がないかなど、それぞれにかかる時間のことを考えて、余裕を持って行動できるようにしましょう。年に一度は、マイ・タイムラインの内容を確認し、追加や変更をしましょう。